



人間関係が希薄だということは
相手のことよりも

自分を優先してしまっているためではないか

いまの時代はインターネットを使えば、日本にいても世界中のあらゆるものを見られるようになっていきます。

確かに昔よりはるかにたくさん映像が見られるようになりましたが、結局、その映像を見るだけでその後ろにあるもの、目に見えないものを想像する力が弱くなってきているのではないかという気がします。

特に若い人は、映像を見てもものごとを理解しようとする傾向があります。

昔から「行間を読む」という言い方がありますが、小説などにしても、書いてある表面的なことしか理解できない人が増えているのではないかと感じます。表面的なものしか見えなくなると、相手の気持ちに寄り添うことも難しくなります。

人間関係が希薄になり、結局、相手のことよりも自分のことが優先されてしまう。親子の間でさえ、そういうことが起きているのではないかと思います。

意識するしないにかかわらず、人間も自然もすべてのものごとは本来、互いにかかわり合って存在しているのです。そのようにつながり合っていることの素晴らしさを忘れてしまうのは、たいへんに残念なことです。こういう時代だからこそ、この世界に広がるかわりと、その大切さに気づいていきたいと願っています。